

09年6月18日 市警ニュース

JSS 和訳

## ATM 詐欺捜査の結果 4人の男に

### 79件の嫌疑

トロント市警詐欺班はこの6月、市内および南オンタリオ全域における銀行カード盗み読みに関する捜査を開始した。

疑われた状況は、

— 2008年1月に犯人たちは、トロント、ヨーク、ダーラムおよびピール郡内のATM設置場所20箇所に銀行カード盗み読みのための機器を取り付け、金融機関から金銭を詐取することを共謀した。

— 犯人たちはATM改造用機器を製造／使用し、銀行カードを偽造した。

— 今日までのところ確認された金融機関の損失額は\$150,000であるが、捜査の進展に伴い金額は増加する見込みである。

6月17日水曜日、トロントにある4名の自宅の家宅捜索が行われた。

その際に、以下が押収された。

— 現金\$5,000、ATM改造機器8セット、未完成のATM改造機器70セット、ATM改造機器および銀行カード偽造製造用機器、偽造銀行カード19枚、およびクレジットカードのデジタル情報。

(以下嫌疑者氏名および嫌疑項目、中略)

これら4人は6月18日午前10時にカレッジパークの501号室法廷に出頭する。

### JSS 説明

銀行カードやクレジットカードの内容を盗み読みしてカードを偽造し、それを使って金融機関から金銭を詐取するいわゆる個人認識情報盗み出し詐欺は、きわめて頻繁に起きている詐欺であるとともに、ここ数年警察が取り締まりを強化しているとはいえ、依然として被害が甚大である犯罪でもある。

(加えて直接の被害者は金融機関であるが、間接的には一般の機関活 사용자가被害を負担している。)

昨年3月に実施された取締り強化月間の発表に伴った解説には、内閣に付属する Office of Privacy Commissioner (OPC) のウェブサイトによると、不正なテレマーケティングや電話などを使った詐欺被害通報のために州警察、RCMP、公正取引委員会が1993年に発足した通報センターである Phonebusters は、2006年中に identity theft による被害7,800件、被害総額16百万ドルを超える通報を受け付けており、またこの数字は全被害の約5%に満たないのではないかと推測しているとある。推測が正しいとすると、被害総数は15万件以上、被害総額は約320百万ドルにも及ぶことになり、莫大である事が分かる。2003年に Ipsos Reid は、カナダでは一生の間で人口の約9%(2.7百万人)が被害を受けるとい調査結果を発表しているし、FBIは米国での被害が年間5億ドル、10百万件に及ぶとしているという。なお、被害は個人ならびに団体共に起きているともいう。

警察は被害を防ぐためには、

- ・ 銀行カードやクレジットカードを紛失したり盗まれた、ないしは銀行またはクレジットカード会社の月例計算書に不審があった場合、すぐに疑念を通報をすること。

- ・ 相手が誰であったとしても人にクレジットカードをを貸さないこと、発行されたカードには必ず署名をすること。
- ・ 使用しないクレジットカードは契約を解消し、常時使用するもののリストを作成すること。
- ・ 郵便物は、配達されたらできるだけ早く取り出し、手紙を住居や仕事場の周囲に放置しないこと。
- ・ 使用済み書類はすべて破棄すること。
- ・ 特に商店などで個人認識番号を打ち込む時には肩越しに除かれない、ないしは天井などに設置されたビデオカメラなどによる盗み撮りを避けるため、キーボードを手で覆うこと。

などを勧めている。